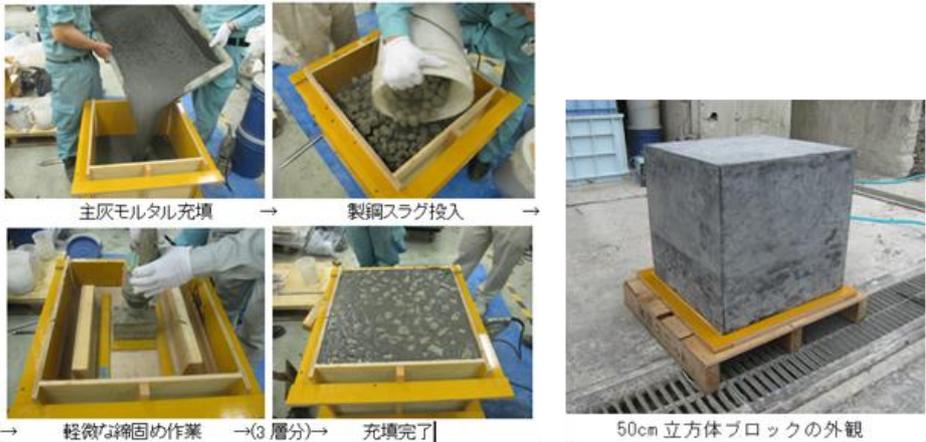


整理 No.	64	分類	がれき焼却灰（主灰）、未利用資源	
会社名	西松建設株式会社			
担当者	平野孝行（土木設計部）、椎名貴快（技術研究所）			
連絡先	TEL	03-3502-7640	FAX	03-3502-0228
	E-mail	takayuki_hirano@nishimatsu.co.jp		
技術の名称	主灰と製鋼スラグを細・粗骨材に用いたポストパackedコンクリート			
概要 (150字程度)	東日本大震災で発生した災害廃棄物の焼却灰（主灰）と産業副産物である製鋼スラグを細・粗骨材に用いたポストパacked方式によるコンクリート技術である。本コンクリートで使用している骨材はすべて再生品であり、十分な強度を有し、盛土材や堤防中詰め材などへの利用を想定している。			
技術登録等				
技術の概要	<p>■製造手順例</p>  <p>主灰モルタル充填 → 製鋼スラグ投入 → 軽微な締め作業 → (3層分) → 充填完了]</p> <p>50cm立方体ブロックの外観</p> <p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充填モルタル：フロー250～300mm、空気量は助剤(FA用)で調整</li> <li>・製鋼スラグ：粒径40(60)-20mm使用、平均実績率40～45%</li> <li>・コンクリート中の再生材(主灰、製鋼スラグ)の容積比：約65%</li> <li>・骨材は全て再生材を使用し、現地モルタル製造設備で製造可能</li> <li>・コンクリートの単位容積質量：約2.5t/m<sup>3</sup></li> <li>・コンクリート強度：10N/mm<sup>2</sup>以上（主灰の強熱減量10%以下の場合）</li> <li>・コンクリート中の放射性Cs含有量：100Bq/kg未滿（国基準クリア）</li> <li>・重金属類の溶出量は環境基準クリア</li> </ul>			
次頁あり	なし			

